

停車場通信

平成23年9月10日発行

焼きそば売上げ 100 万円達成～厚別区民まつり～

7月29日・30日、ふれあい広場あつべつで、恒例の厚別区民まつりが開催されました。

29日はうだるような暑さでしたが、ステージでは前号で紹介した、厚別中央振興会の山森さんが率いる「厚別本陣はまなす太鼓」の皆さんが、豪快でありながら繊細な太鼓演奏を披露し、暑さを吹き飛ばしてくださいました。またその後には、厚別中央町連女性部の皆さんが、涼やかな浴衣姿で「厚別音頭」を踊り、しばし暑さを忘れさせてくださいました。



一方、これも毎年恒例の「焼きそば」出店。各町内会のご協力をいただいて、キャベツ刻み、焼き、盛付け、販売とフル回転で従事していただきました。29日があまりの暑さのため、思うように販売数が伸びなかったことや、焼き台が故障するなど、トラブルもありましたが、2日間で、目標である100万円を上回る、107万円余りの売上げがありました。そのほか従事された方々も含め、暑い中本当にお疲れ様でした。



ミステリー列車の集い

8月28日、厚別中央地区・厚別東地区の子ども会連絡会、青少年育成委員会などが主催する、「ミステリー列車の集い」が開催されました。

午前9時過ぎ、子どもたち260人を乗せた6両編成の列車は、行く先もわからぬまま厚別駅を出発。車内では、ジュニアリーダーの指揮のもと、ビンゴ大会が行われ、大騒ぎ。貸し切り列車ならではの子ども天国となりました。

ミステリーの答えは「おたる水族館」。水槽の魚や、今年から仲間入りしたセイウチ、そしてイルカのショーに、子どもたちは目を輝かせていました。

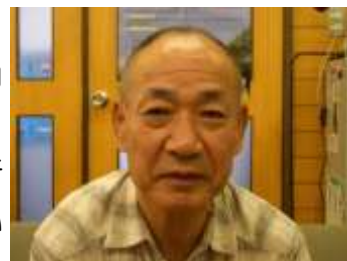
帰りの車内は、疲れて寝てしまったり、まだまだ元気でおしゃべりに花が咲いていたりで、みんなせいいっぱい夏の終わりを楽しんだようです。



【厚別中央のひと②】 癒しの音色に魅せられて

皆さんはミュージカルソーというものをご存知でしょうか。「ソー」は英語でノコギリのこと。ミュージカルソーとはノコギリの形をした楽器を鳴らして音楽を演奏するものです。

今回は、そのミュージカルソー演奏によるボランティアを行っている中川壽美男さん（62歳厚別中央3条）にお話を伺いました。



インタビュー

中) → 中川さん

イ) → インタビュアー厚別中央まちセン山本

イ) ノコギリといっても、ちょっと違ってきますね。

中) 曲げ具合で音が変わるので、音が幅広く出るよう、曲げやすい柔らかい素材でできています。柄を膝ではさんで、いわゆる刃先を手で持って、弓でこすって音を出します。私の場合は曲げ具合をコントロールしやすいように刃先に万力の持ち手をつけています。あ、ノコギリの形はしていますが、歯を落としているのでこれで木を切ることはできませんよ。

イ) ミュージカルソーとの出会いは。

中) 若いころから音楽の道に進みたいという夢があり、音更で公務員として就職してからもバンドや創作活動などに携わっていたのですが、やはり音楽への思いがふくらんできて、52歳で退職し、帯広で音楽事務所を開いたのです。自分も音楽をやりながら子どもたちに音楽を教えたいと、音楽教室のようなことをやったのですが、なかなかうまくは行きませんでした。まあ、今となってはそれもいい経験だと思っていますが。ミュージカルソーは、帯広にいた時分に購入したのですが、正直その頃はまだそれほど弾いていませんでした。

イ) おききしづらいのですが、52歳で公務員を退職して音楽事務所とは、ずいぶん
と思いつきましたね。

中) はい、当然ながら家族には反対されました。職場も引き止めてくれたのですが、
ここでチャレンジしないと、これから何もできなくなってしまうと思い、子供が
独立したのを機に決断しました。帯広ではうまく行かなかったのですが、もとも
といつかは札幌でと考えていたので、新たな展開を求めて、平成14年に親も連
れて家族全員で札幌に出てきたのです。

イ) それからミュージカルソーを本格的に始められたと。

中) はい、札幌へ出たのを転機に、なにか今までとは違う、そして人がやらない
ことをやって発奮材料にしたいと考え、本腰を入れてやってみようと思
い立ちました。先生もお手本もない中
で、ほかの人の演奏も参考にしながら、少しずつ練習を重ね、自分の音を
模索してきました。



イ) 人々の前で演奏するようになったのは

中) 3年くらい前からカフェでライブをやらせてもらったり、病院やちょっとした
イベント等に呼ばれて、少しずつ人前で演奏するようになりました。演奏する
ときは「すみ すみた」という名前です。ただ、活動の場所が少ないのが悩みです。
施設などにもたくさんメールを打っているのですが、なかなか機会が訪れません。
自分をもっともっとミュージカルソーの魅力を広めていきたいのです。日中は働
いていますが、時間をつくってどんどん出たいと考えていますので、ボランティ
アなどの機会がありましたら是非声をかけてほしいですね。

イ) 最後に中川さんにとってミュージカルソーの魅力とは

中) 人がやっていないことをやっているという自負と、なんといってもその音色で
す。ゆったりした音色によって自分自身が癒されますし、特にお年寄りの方に懐
かしさ、癒しを感じてほしい。そして、昔の唱歌とか童謡を聴いて、嬉しかった
こと、楽しかったこと、あるいはそのときは苦しかったということもあるかもし
れません、そういったことを思い出してもらえればありがたいです。とにかく、
ぜひ声をかけてください。

「ノコギリ音楽は癒しの音楽」とおっしゃる中川さん。10月に厚別中央地区で開催
される「さわやか健康茶話会」にも出演していただきます。なお、中川さんのミュ
ージカルソーに興味を持たれた方は、厚別中央まちづくりセンターにご連絡ください。
まちセンが、中川さんに連絡をいたします。中川さん、ありがとうございました。

地区カレンダー (行事の詳細については、「広報さっぽろ」やホームページ、各団体のチラシをご覧ください)

厚別区・札幌市などの動き	地区の動き
9月	9月
12日～ 第2回みんなの！新さっぽろ フォトコンテスト作品募集開始 16日～ さっぽろオータムフェスト(大通公園) 18日 夢市場あつべつ(ふれあい広場あつべつ) 25日 ^{にっこ} 笑顔まつり(ふれあい広場あつべつ)	6日 地域と創る冬みち事業市民懇談会 (厚別区役所) 12日 ひばりが丘小学校拡大避難訓練 (ひばりが丘小学校) 21日 秋の交通安全街頭啓発運動 (とんでん前)
10月	10月
1日 あつべつ健康・福祉フェスタ(区民センター) 2日 第36回札幌マラソン大会(真駒内屋外競技場スタート) 7日 厚別区民友愛セール(区民センター) 15日 夢市場あつべつ(ふれあい広場あつべつ)	17～21日 さわやか健康茶話会 (5会場)
11月	11月
5日～21日みんなの！新さっぽろフォト コンテスト作品展(サピア・デュオ) 25日～ ミュンヘンクリスマス市(大通公園2丁目) 29日～12月1日 花のチャリティバザー (区民センター)	2日 厚別中央地区地域健康教室 (厚別会館) 18～20日 あつべつ歴史写真パネル展 (サンピアザ・光の広場)



◆編集後記◆ (所長のつぶやき)

円山動物園では、昨年「キッドランド」(機械の遊具)をやめてしまいましたが、小さいころあの遊具に乗った(あるいは子、孫をつれていった)思い出のある方も多いのではないかと思います。おたる水族館では、敷地の横で、遊具がまだ細々と動いています。少しさびついた遊具は、ちょっと寂しいような、なにか懐かしいような、そんな気持ちにさせられます。もう夏も終わりです。〈山本〉

～編集・発行～

厚別中央まちづくりセンター 厚別区厚別中央4条3丁目3-6

電話 011-891-3907 FAX 011-895-0149

厚別区役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>

札幌市役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/>



さっぽろ市
03-Q02-11-413
23-3-199